



2023年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2022年8月3日
上場取引所 東

上場会社名 オリックス株式会社
 コード番号 8591 URL <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 井上 亮
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経理部長 (氏名) 五十嵐 陽 TEL 03-3435-3000 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	657,813	8.0	83,293	△18.3	85,015	△15.0	61,862	△5.1
2022年3月期第1四半期	608,813	13.2	101,979	124.1	100,056	47.9	65,216	30.3

(注) 1. 当社株主に帰属する四半期包括利益 2023年3月期第1四半期 98,180百万円 (20.8%) 2022年3月期第1四半期 81,293百万円 (77.2%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	51.90	51.85
2022年3月期第1四半期	53.65	53.61

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,622,486	3,403,485	3,293,726	22.5
2022年3月期	14,270,672	3,371,401	3,261,419	22.9

(注) 1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。
 2. 株主資本比率は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	39.00	—	46.60	85.60
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	42.80	—	42.80	85.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	1,258,277,087株	2022年3月期	1,258,277,087株
------------	----------------	----------	----------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	67,256,792株	2022年3月期	62,914,027株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	1,191,991,937株	2022年3月期1Q	1,215,578,051株
------------	----------------	------------	----------------

(注)2023年3月期第1四半期連結会計期間末および2022年3月期連結会計年度末において、役員報酬BIP信託（役員報酬のうち、将来支給する株式報酬に充当するもの）として保有する当社株式、それぞれ1,963,282株および1,963,282株は、期末自己株式数に含めていませんが、1株当たり情報の算出において控除する自己株式として含めています。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

将来に関する記述と異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社が関東財務局長に提出しています有価証券報告書の「事業等のリスク」、アメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出していますForm 20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」に記載されていますが、これらに限られるものではありません。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の概況	2
(1) 連結経営成績	2
(2) 連結財政状態	8
2. 四半期連結財務諸表等	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	10
(3) 四半期連結包括利益計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算の概況

(1) 連結経営成績

第1四半期連結累計期間の経営成績

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
営業収益	(百万円)	608,813	657,813	49,000	8%
営業費用	(百万円)	506,834	574,520	67,686	13%
税引前四半期純利益	(百万円)	100,056	85,015	△15,041	△15%
当社株主に帰属する四半期純利益	(百万円)	65,216	61,862	△3,354	△5%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益（基本的）	(円)	53.65	51.90	△1.75	△3%
（希薄化後）	(円)	53.61	51.85	△1.76	△3%
ROE （当社株主資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算）	(%)	8.6	7.5	△1.1	—
ROA （総資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算）	(%)	1.92	1.71	△0.21	—

（注）ROEは、米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を用いて算出しています。

業績総括（2022年4月1日から2022年6月30日まで）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、有価証券売却・評価損益および受取配当金が減少したものの、サービス収入や生命保険料収入および運用益、オペレーティング・リース収益、商品および不動産売上高が増加したため、前年同期の608,813百万円に比べて8%増の657,813百万円になりました。

営業費用は、生命保険費用やサービス費用、商品および不動産売上原価が増加したため、前年同期の506,834百万円に比べて13%増の574,520百万円になりました。

また、持分法投資損益は1,381百万円の損失（前年同期は4,920百万円の損失）になりました。子会社・関連会社株式売却損益および清算損は前年同期に比べて106百万円増の3,103百万円になりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の税引前四半期純利益は、前年同期の100,056百万円に比べて15%減の85,015百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の65,216百万円に比べて5%減の61,862百万円になりました。

セグメント別動向

当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は、前年同期に比べて15%減の85,941百万円となりました。

2022年4月1日より、これまでセグメント利益と四半期連結財務諸表との調整額に含めていた支払利息と販売費および一般管理費の一部を各セグメントに配賦する方法に変更しています。これらの変更により、前第1四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。

各セグメントの当第1四半期連結累計期間の動向は以下のとおりです。

法人営業・メンテナンスリース：金融・各種手数料ビジネス、自動車および電子計測器・ICT関連機器などのリースおよびレンタル

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	17,202	15,725	△1,477	△9

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,516,795	1,486,080	△30,715	△2

セグメント利益は、前第4四半期連結会計期間に行った弥生株式会社の事業の売却に伴いサービス収入が減少したことにより、前年同期に比べて9%減の15,725百万円になりました。

セグメント資産は、リース純投資、営業貸付金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて2%減の1,486,080百万円になりました。

不動産：不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	10,592	11,938	1,346	13

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	910,101	904,248	△5,853	△1

セグメント利益は、株式会社大京およびその子会社の商品および不動産売上高が減少したものの、運営施設のサービス収入が増加したことにより、前年同期に比べて13%増の11,938百万円になりました。

セグメント資産は、棚卸資産が増加したものの、オペレーティング・リース投資が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて1%減の904,248百万円になりました。

事業投資・コンセッション：企業投資、コンセッション

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	158	2,187	2,029	—

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	353,581	368,704	15,123	4

セグメント利益は、オペレーティング・リース収益やサービス収入が増加したこと、およびコンセッションにおいて関西3空港からの持分法投資損失が減少したことにより、前年同期の158百万円に比べて2,029百万円増の2,187百万円になりました。

セグメント資産は、一部の投資先の事業用資産が減少したものの、子会社の取得に伴い投資有価証券や営業権、企業結合で取得した無形資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて4%増の368,704百万円になりました。

環境エネルギー：国内外再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	4,343	4,592	249	6

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	703,608	731,133	27,525	4

セグメント利益は、インドで再生可能エネルギー事業を行う投資先の季節要因に伴う持分法投資損失を計上したものの、売電収入の増加でサービス収入が増加したことにより、前年同期に比べて6%増の4,592百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響で営業権、企業結合で取得した無形資産や事業用資産、関連会社投資が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて4%増の731,133百万円になりました。

保険：生命保険

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	15,147	10,890	△4,257	△28

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,072,145	2,082,153	10,008	0

セグメント利益は、保険契約の増加に伴い生命保険料収入および運用益が増加したものの、給付金の支払いで生命保険費用が増加したことにより、前年同期に比べて28%減の10,890百万円になりました。

セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて横ばいの2,082,153百万円になりました。

銀行・クレジット：銀行、無担保ローン

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	12,180	7,236	△4,944	△41

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,687,156	2,691,467	4,311	0

セグメント利益は、オリックス銀行株式会社において前年同期に有価証券売却・評価損益および受取配当金を計上した反動、ならびにオリックス・クレジット株式会社において当期に広告宣伝費が増加したことにより、前年同期に比べて41%減の7,236百万円になりました。

セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて横ばいの2,691,467百万円になりました。

輸送機器：航空機のリース・管理、船舶関連投融资

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	△4,954	5,416	10,370	—

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	684,098	723,184	39,086	6

セグメント利益は、Avolon Holdings Limitedからの持分法投資損失が減少したこと、および船舶関連事業においてオペレーティング・リース収益が増加したことにより、前年同期の4,954百万円の損失に比べて10,370百万円増の5,416百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響で関連会社投資が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて6%増の723,184百万円になりました。

ORIX USA：米州における金融、投資、アセットマネジメント

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	24,900	6,039	△18,861	△76

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,364,142	1,554,481	190,339	14

セグメント利益は、主に前年同期に投資先の売却等で有価証券売却・評価損益および受取配当金を計上したことの反動により、前年同期に比べて76%減の6,039百万円になりました。

セグメント資産は、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて14%増の1,554,481百万円になりました。

ORIX Europe：グローバル株式・債券のアセットマネジメント

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	13,396	9,301	△4,095	△31

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	401,869	409,786	7,917	2

セグメント利益は、市況の悪化に伴い有価証券売却・評価損益および受取配当金が減少したことにより、前年同期に比べて31%減の9,301百万円になりました。

セグメント資産は、投資有価証券が減少したものの、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて2%増の409,786百万円になりました。

アジア・豪州：アジア・豪州における金融、投資

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント利益	8,512	12,617	4,105	48

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,306,089	1,375,656	69,567	5

セグメント利益は、投資先の売却に伴い子会社・関連会社株式売却損益が増加したこと、および韓国・豪州におけるオペレーティング・リース収益が増加したことにより、前年同期に比べて48%増の12,617百万円になりました。

セグメント資産は、中華圏における営業貸付金が減少したものの、主に為替影響により、前連結会計年度末に比べて5%増の1,375,656百万円になりました。

（2）連結財政状態

資産、負債、株主資本の状況

	前連結会計 年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減	増減率
総資産 (百万円)	14,270,672	14,622,486	351,814	2%
（うち、セグメント資産）	11,999,584	12,326,892	327,308	3%
負債合計 (百万円)	10,899,271	11,218,327	319,056	3%
（うち、長短借入債務）	4,866,685	5,307,129	440,444	9%
（うち、預金）	2,276,158	2,265,925	△10,233	△0%
当社株主資本 (百万円)	3,261,419	3,293,726	32,307	1%
1株当たり当社株主資本 (円)	2,732.88	2,770.03	37.15	1%

（注）1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 1株当たり株主資本は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

総資産は、現金および現金等価物が減少したものの、その他資産や営業貸付金、関連会社投資が増加したことで、前連結会計年度末に比べて2%増の14,622,486百万円になりました。また、セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて3%増の12,326,892百万円になりました。

負債については、支払手形、買掛金および未払金や未払法人税等が減少した一方で、短期借入債務や長期借入債務が増加したことで、前連結会計年度末に比べて3%増の11,218,327百万円になりました。

当社株主資本は、前連結会計年度末から1%増の3,293,726百万円になりました。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2022年6月30日)		前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2022年6月30日)
現金および現金等価物	954,827	855,444	短期借入債務	439,639	591,178
使途制限付現金	136,985	139,548	預金	2,276,158	2,265,925
リース純投資	1,057,973	1,073,525	支払手形、買掛金および未払金	291,422	263,285
営業貸付金	3,862,604	3,966,734	保険契約債務および保険契約者勘定	1,963,623	2,005,240
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)			(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)		
2022年3月31日	151,601百万円		2022年3月31日	198,905百万円	
2022年6月30日	222,298百万円		2022年6月30日	180,791百万円	
信用損失引当金	△69,459	△65,775	未払法人税等	461,181	341,566
オペレーティング・リース投資	1,463,202	1,472,825	長期借入債務	4,427,046	4,715,951
投資有価証券	2,852,349	2,912,772	その他負債	1,040,202	1,035,182
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)					
2022年3月31日	19,353百万円		(負債合計)	10,899,271	11,218,327
2022年6月30日	24,799百万円				
(下記の売却可能負債証券の償却原価と 信用損失引当金を含む)			償還可能非支配持分	—	674
2022年3月31日			契約債務および偶発債務		
償却原価	2,276,425百万円				
信用損失引当金	△153百万円				
2022年6月30日					
償却原価	2,441,199百万円				
信用損失引当金	△163百万円				
事業用資産	561,846	560,873	資本金	221,111	221,111
関連会社投資	978,033	1,047,867	資本剰余金	260,479	260,653
受取手形、売掛金および未収入金	359,949	399,780	利益剰余金	2,909,317	2,915,475
棚卸資産	139,563	146,455	その他の包括利益累計額	△16,041	20,277
社用資産	240,421	246,750	自己株式（取得価額）	△113,447	△123,790
その他資産	1,732,379	1,865,688	(当社株主資本合計)	3,261,419	3,293,726
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した下記の金額を含む)			非支配持分	109,982	109,759
2022年3月31日	5,214百万円		(資本合計)	3,371,401	3,403,485
2022年6月30日	5,732百万円				
資産合計	14,270,672	14,622,486	負債・資本合計	14,270,672	14,622,486

(注) その他の包括利益累計額内訳

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末
未実現有価証券評価損益	△72,892	△154,265
金融負債評価調整	221	205
確定給付年金制度	△8,072	△8,239
為替換算調整勘定	61,914	169,590
未実現デリバティブ評価損益	2,788	12,986
	△16,041	20,277

(2) 四半期連結損益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
営業収益		
金融収益	68,302	73,843
有価証券売却・評価損益および受取配当金	24,129	△5,640
オペレーティング・リース収益	113,466	126,199
生命保険料収入および運用益	108,098	126,277
商品および不動産売上高	119,104	131,298
サービス収入	175,714	205,836
営業収益計	608,813	657,813
営業費用		
支払利息	16,919	21,898
オペレーティング・リース原価	79,754	81,888
生命保険費用	79,763	101,566
商品および不動産売上原価	99,068	112,430
サービス費用	105,896	122,537
その他の損益	3,511	1,730
販売費および一般管理費	122,085	132,082
信用損失費用	△255	248
長期性資産評価損	87	108
有価証券評価損	6	33
営業費用計	506,834	574,520
営業利益	101,979	83,293
持分法投資損益	△4,920	△1,381
子会社・関連会社株式売却損益および清算損	2,997	3,103
税引前四半期純利益	100,056	85,015
法人税等	29,456	20,727
四半期純利益	70,600	64,288
非支配持分に帰属する四半期純利益	5,384	2,426
当社株主に帰属する四半期純利益	65,216	61,862

（3）四半期連結包括利益計算書（米国会計基準）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	70,600	64,288
その他の包括利益		
未実現有価証券評価損益	6,381	△81,373
金融負債評価調整	△24	△16
確定給付年金制度	△47	△165
為替換算調整勘定	9,041	114,119
未実現デリバティブ評価損益	892	10,931
その他の包括利益 計	16,243	43,496
四半期包括利益	86,843	107,784
非支配持分に帰属する四半期包括利益	5,550	9,566
償還可能非支配持分に帰属する四半期包括利益	—	38
当社株主に帰属する四半期包括利益	81,293	98,180

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報 (米国会計基準)

事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2022年6月30日)
	セグメント収益	セグメント利益	セグメント収益	セグメント利益	セグメント資産	セグメント資産
法人営業・ メンテナンスリース	109,792	17,202	104,125	15,725	1,516,795	1,486,080
不動産	96,762	10,592	96,865	11,938	910,101	904,248
事業投資・ コンセッション	99,624	158	121,778	2,187	353,581	368,704
環境エネルギー	29,329	4,343	46,801	4,592	703,608	731,133
保険	109,181	15,147	127,542	10,890	2,072,145	2,082,153
銀行・クレジット	22,826	12,180	20,041	7,236	2,687,156	2,691,467
輸送機器	8,463	△4,954	14,564	5,416	684,098	723,184
ORIX USA	47,694	24,900	35,582	6,039	1,364,142	1,554,481
ORIX Europe	50,456	13,396	43,697	9,301	401,869	409,786
アジア・豪州	34,648	8,512	45,001	12,617	1,306,089	1,375,656
セグメント計	608,775	101,476	655,996	85,941	11,999,584	12,326,892
四半期連結財務諸表(連結 財務諸表)との調整	38	△1,420	1,817	△926	2,271,088	2,295,594
連結合計	608,813	100,056	657,813	85,015	14,270,672	14,622,486

- (注) 1. 当社の業績評価は、税引前四半期純利益に税効果控除前の非支配持分に帰属する四半期純利益および償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益を加減しています。なお、セグメント利益には税金費用は含まれていません。
2. 2022年4月1日より、これまでセグメント利益と四半期連結財務諸表との調整額に含めていた支払利息と販売費および一般管理費の一部を各セグメントに配賦する方法に変更しています。これらの変更により、前第1四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。
3. セグメント間の取引を各セグメント収益に含めて計上し、その消去を四半期連結財務諸表との調整に含めて計上しています。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。